

(様式第7号)

令和7年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市商工観光センター		
指定管理者	舞鶴商工会議所		
設置目的	活力あるまちづくりを推進するため、商工業、観光等地域産業の振興を図り、もって地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	公募	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
所管課	産業振興部 商工・観光振興課		

2 利用状況等の推移

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数(人)	22,981	18,570			
利用料金(円)	5,810,473	4,877,840			
指定管理料(円)	66,780,000	66,103,000			

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
貸館件数	1,600件	1,390件	968件	69.6%
利用人数	38,000人	27,800人	18,570人	66.8%
交流事業参加人数	5,000人	5,000人	4,768人	95.4%
PC講座等受講者延べ人数	110人	110人	452人	410.9%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	4,745,521	人件費	14,102,830
指定管理料	66,103,000	維持管理費	57,560,776
事業収入	735,190	事業費	923,589
その他	8,274,539	その他	6,773,010
合計	79,858,250	合計	79,360,205
差額			498,045

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	5階ホールの可動椅子修繕工事に伴う利用制限が響き、上半期の稼働落ち込みを年度後半で補いきれず、貸館件数・利用者数ともに当初の年間目標値には届かなかった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	商工業、観光等の産業振興につなげる取り組みとして、パソコン教室や海自・海保カレー事業の取り組みに参画し、積極的に自主事業を展開した。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	市の商工業・観光の発展を目的に、市主催事業と連携し企業紹介の展示を設けるなど、可能な範囲で自主事業を展開した。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	パソコン教室や親子ものづくり体験などの自主事業を計画通りに消化するとともに、ホームページやSNS等の多角的な広報ツールの運用により、認知度向上と情報発信の強化に結びつけた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	HP等の情報発信の充実や問い合わせ・下見の段階から丁寧な対応を行い、利用者の利便性を向上させる取り組みを行っていた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	満足度アンケートによると、回答者の79%が「良い」「やや良い」と評価しており、職員の対応や施設管理も同様の評価で概ね高い評価をいただいた。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	◎	定期アンケート等を通じて利用者の声を的確に集約・分析しており、寄せられた具体的な改善要望に対しても、優先順位をつけながら柔軟かつ迅速な実務対応がなされた。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	◎	市営駐車場の容量不足に伴う苦情に対しては、誠実な説明の上で周辺駐車スペースへ誘導したほか、代替案として近隣国有地の借り上げ案内を行うなど適切に対処した。経年劣化による設備不具合も、市と密に連携しながら速やかな対応が図られた。
(3) 管理運営の効率性		

経費の節減が図られたか	◎	物品購入、業務委託における見積合わせに加え、節水・節電をテナントも含めて推進し、経費の節減に取り組んでいる。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	見積合わせや、費用対効果を検討して、必要最小限の購入となるように取り組んでいる。
収入増加のための取組が行われたか	◎	ウェブサイトへ視覚的な画像情報を増やすリニューアルを行って閲覧環境を整備したほか、商工会議所会報を活用した企業向けの積極的な利用PRを行うなど、利用促進・収入源の確保に注力した。

(4) 適正な管理運営

適切な人員配置が行われたか	○	職員の体制が固定し、会議所からの加配人員も受ける等、適正な業務遂行に必要な人員配置を確保できた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	スタッフミーティングをルーティン化（定例化）したことで、キャリアの浅い職員の育成・スキルアップを促すとともに、組織内におけるタイムリーな情報共有体制を確立した。
施設の平等な利用が行われたか	○	平等な利用となる運営を行った。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報が漏洩しないように取り組んだ。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行った。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に処理した。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	法令及びセンター管理業務仕様書に従って適切に管理した。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に管理した。
危機管理、安全対策などは十分か	○	避難訓練を実施し、館内での犯罪や事故発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、「危機管理マニュアル」を作成している。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	法令遵守し適正に管理した。

(5) その他コメント

サービス向上	利用希望者からの初期の問い合わせに対し、常に親身かつ丁寧なバックアップを行っている点が評価でき、それがアンケートの総じて高い満足度にも直結している。自主事業のPC講座に関しても、就労準備層からスキルアップを目指す在职者層まで、幅広い市民のニーズを捉えた多彩なプログラムを提供できた。今後とも市民の皆様にも広く親しまれ、さらなる利用者の掘り起こしに繋がるよう、ハード・ソフト両面での魅力ある施設づくりの工夫を継続されたい。
経費削減	経費節減の努力はしているが、引き続き電気使用量や水道使用量、燃料利用量の削減に努め、委託費等の経常経費についても、業務内容の見直しを徹底して経費の節減を図られたい。
施設の維持・管理	法定点検時の消防・建築設備における指摘事項に対して、迅速な修理や改善対応がなされており評価できる。建物や諸設備の経年劣化が顕著になりつつある局面だが、現場での的確な初期応急処置と、市への速やかな状況報告・情報共有を行うことで、適切な安全管理水準が良好にキープされている。今後も利用者の安全第一に、密な連携による維持管理に努められたい。

※(1)から(4)までにおける評価区分

◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。

○(良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。

△(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3.42点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	・事業運営における所管課からの評価が高く、施設内の清掃が行き届いている。 ・人件費が高騰している中で、業務委託費が減少しているのは疑問。 ・利用料収入が低いのは課題。 ・自主事業を活発に行っていただきたい。 ・「振興すべき商工業・観光」を具体化し、管理者と共有することで設置目的に根ざす施設運営をお願いしたい。	

《参考》 過年度の評価点

令和6年度	令和7年度	年度	年度	平均
3.20点				